

チューリヒ

ニューヨーク

パリ

バルセロナ

メキシコ

戦前 デュシャン・ピカビア
アポリネールの活動

ブレ・ダダ

1913 デュシャン・ピカビア
「アーモリー・ショー」
⇒デ・ザヤスと知り合う

デュシャン&ピカビア、パリへ
ピカビア・アポリネール
『ソワレ・ド・パリ』

1915 ザヤス、スティーグリッツ
「モダン・ギャラリー」

← デュシャン、ピカビア、NYへ

1916 『自転車の車輪』(1913)
『空き瓶掛け』(1914)
⇒レディメイド
=芸術への挑戦

1916 ピカビア、デ・ビュッフェ
バルセロナへ

1917 デュシャン『泉』
ピカビア『391』発行
ウラヴァン講演

1917 チューリヒ・ダダと
似た宣言ができる
フランス美術展

1918 ダダ宣言

1917年 アメリカが連合国側として、戦争介入決定

前衛芸術家が一時的にばらばらになる

1919 マン・レイ『TNT』創刊
⇒前衛芸術再開
デュシャン、ピカビアNYへ

ピカビア、デュシャン
パリ・ダダの準備段階
を目撃

1920 デュシャン、マン・レイ
『回転ガラス板』制作
デュシャン、ドライバーと
知り合う⇒仏独の結びつき

1921 デュシャン、レイ
『ニューヨーク・ダダ』発行

→ デュシャン、レイ、パリへ

1921 アルセ、ザヤス
「エストリデンティスモ」
(絶叫主義)運動